

食道癌、胃癌入院患者における転倒リスクスコアとサルコペニア および予後との関連に関する後ろ向き研究

1. 研究の対象

2009年1月から2019年12月の間に当院において根治的手術を受けられた食道癌、胃癌の方

2. 研究目的・方法

急性期病院は様々な全身状態の方が入院されますが、入院後に院内で転倒や転落を起こすことがあります。これらを完全に防止することは難しく、しかしながら発生すると患者さんが不幸な転帰をたどることもあるため適切な転倒予防介入策を講じる必要があります。当院では病棟看護師により「転倒・転落アセスメントスコアシート」を用いて患者さんごとに転倒・転落のリスクを評価し、対策を講じています。この「転倒・転落アセスメントスコアシート」は「年齢」、「転倒歴」、「身体的機能障害」、「精神的機能障害」、「活動状況」、「使用薬剤」、「排泄状況」にわかれており、それぞれ満たした項目によってスコア化することでリスクを評価しています。これまで転倒・転落アセスメントスコアは転倒・転落リスクを評価することにのみ用いられていましたが、これらの項目は全身状態や、既往歴、サルコペニアなどの要素を転倒・転落のリスクという側面から総合的に評価しているのではないかと考えました。そこで本検討では、当科における食道癌、胃癌入院患者さんの転倒・転落アセスメントスコアと他の全身状態評価スコア、栄養学的指標、サルコペニアとの関連を明らかにするとともに、手術短期成績や癌の長期予後に与える影響について後方視的に明らかにすることを目的としています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：カルテ番号、生年月日、イニシャル、病理検体番号、病歴、CT画像、カルテ番号 等

試料：なし

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申

出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者：防衛医科大学校 外科学講座 助教 矢口義久（研究責任者）

住所：埼玉県所沢市並木 3-2

電話：04-2995-1216